

## 30

## 治療をしながら 仕事は続けられますか？

**A** 辞めないで！  
治療と仕事を上手に両立していきましょう。

### ● 即断即決は避けましょう

肝炎の治療は、副作用の少ない飲み薬が主となるなど、身体への負担が軽減されてきています。入院ではなく外来での治療が中心となり、治療をしながら仕事を続けることが可能です。ただし、肝硬変、肝がん等で症状が出てきた場合には、治療と仕事を両立するうえで配慮が必要なことも出てきます。

医師は、患者さんの仕事内容について詳しい情報がないため、仕事ではなく、治療のスケジュールを優先してしまうことがあるかもしれません。仕事と治療のスケジュールについて相談しましょう。患者さんのなかにも、「治療に専念するために仕事を辞めてきた」とおっしゃる方もいます。

肝炎に限らず、肝疾患においては定期的に通院する必要がありますが、仕事をすぐに辞めることはありません。即断即決は避けましょう。

### ● 相談してみることが大事

治療と仕事を両立するために、まずは、医師、お近くの肝疾患相談・支援センターや肝炎医療コーディネーター、両立支援コーディネーターに相談してみましょう。また、お住まいの都道府県にある産業保健総合支援センター等で相談することも可能です(後項 32)。

どのような仕事に就いているか(営業職で外回りが多い、接客業で

## 生活について(仕事)

立ち仕事が多い、出張や残業が多い、シフト制で勤務が不規則など)、働くうえでどのような配慮が必要になるのか、今後の見通しなど、予め医師と共有しておくことが大切です。平日の朝一や夜間、土・日など、業務に支障のない時間帯に受診が可能かも、あわせて確認しておくといいですね。

職場から意見書の提出を求められたら、医師には「どのような働き方が望ましいか」「仕事するにあたり気をつけること」などを、具体的に記載してもらいましょう。業務内容や、「働くこと」に対する患者さんの思いも、医師や肝炎医療コーディネーター・両立支援コーディネーターと共有しておくことが大切です。「忙しい医師に自分の仕事のことで聞いて聞きにくいなあ」という方は、まずは、お近くの肝疾患相談・支援センターに相談するのもよいでしょう。

### 医師や肝炎医療コーディネーター・両立支援コーディネーターと確認しておくこと

- 治療期間はどのくらいですか？  
(治療中、経過観察中の通院の頻度 など)
- 副作用や合併症はありますか？  
生活や仕事のうえでどのような点に気をつければよいですか？
- 職場で配慮が必要なことはありますか？  
(出張や不規則な勤務、高所での作業は避けるなど具体的に)

### もっと治療と仕事の両立について知りたい

治療と仕事の両立支援ナビ

検索

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/>

